

林 農林水産大臣が農環研をご視察

9月3日、筑波農林研究団地現地視察の一環として、林 芳正 農林水産大臣が、アイソトープ実験棟を視察されました。宮下理事長がお出迎えした後、谷山研究コーディネータより、実験棟の概要や1959年以降続けている農地土壌及び農作物の放射性物質濃度のモニタリング、東日本大震災後に作成した農地土壌の放射性セシウム濃度分布推定図について説明しました。また、放射線管理区域内では、ゲルマニウム半導体検出器をご覧になりました。大臣は、震災の年に水稻の作付け制限に活用された「土壌から農作物への移行係数」が、50年以上にわたるモニタリング結果を基に算出されていたことに触れ、モニタリングを長期に継



続することの重要性に関心を持っておられました。夕刻には、食と農の科学館で若手・女性研究者との意見交換会が開催され、農環研からは物質循環研究領域の秋山主任研究員が参加しました。

(企画戦略室長 山本 勝利)

サマーサイエンスキャンプ2013



(独)農業環境技術研究所は、8月7日(水)から9日(金)までの、3日間の日程でサマー・サイエンスキャンプ2013を実施しました。サイエンスキャンプは、(独)科学技術振興機構(JST)が主催し、全国の研究機関や大学・企業に、高校生・高等専門学校生などを受け

入れ、研究者、技術者等の指導で実験や実習を行う「科学技術体験合宿プログラム」です。研究の現場に触れることで、参加者の科学技術に対する興味・関心を高め、創造性・知的探究心などを育てることをねらいとしています。

今年の農環研でのサマー・サイエンスキャンプは、「土壌中で生活している線虫などの土壌動物を観察してみよう」をテーマとして10名の高校生を受入れ、研究者がどのようにして農業環境研究に取り組んでいるかを体験してもらいました。

(広報情報室)

ちびっ子博士2013 昆虫採集教室

(独)農業環境技術研究所では、小中学生の夏休みに合わせて毎年、「つくばちびっ子博士」のプログラムを実施しています。今年も、7月22日(火)と23日(水)に「昆虫採集教室」を、7月27日(土)に「のうかんけん夏休み公開」(詳細報告は次ページ)を実施しました。昆虫採集教室(小学校3年生以上、事前予約制、定員40名)では、参加者3~4人ごとに昆虫関係の研究者がついて昆虫採集を行い、その後、室内で昆虫標本を作りました。

「つくばちびっ子博士」は、子どもたちが、科学のおもしろさを体験することによって科学・技術に関心を持つよう、つくば市などの主催により毎年実施されています。全国の小学生・中学生が対象で、「パスポート」を持ってつくば市内の研究機関や大学で行われる展示やイベントを見学・体験して、スタンプを集めて事務局に提出すると、つくばちびっ子博士に認定されます。

(広報情報室)

